日本史

日　本　史

第１問　古代～近代の貨幣・金融制度に関する **A** ～ **C** の文章を読み，次の問い（**問１**～**８**）に答えよ。

A　７世紀後半，律令国家の建設を推進した天武天皇は，初めての銭貨である［ ア ］を鋳造した。以後政府は，８世紀初めから 10 世紀半ばにかけて，本朝（皇朝）十二銭と総称される銭貨をあいついで鋳造した。

しかし，日本が貨幣経済の時代に入るのは平安時代末期以降であり，ⓐ中国から輸入された宋銭が流通した。鎌倉時代後期には，貨幣経済の浸透が社会の動揺をもたらし，幕府は［ イ ］後，永仁の徳政令を出して借金に苦しむ御家人を救済しようとした。

ⓑ室町時代になると，貨幣経済の発展はさらに著しくなり，都市の商工業者のみならず，農村にも貨幣が浸透していった。室町時代には，宋銭に加えて，日明貿易でもたらされた永楽通宝などの明銭が使用され，需要の増大にともなって粗悪な私鋳銭も流通するようになった。そのため，悪銭を嫌って精銭を選ぶ撰銭が流通の障害になることもあった。

問１　空欄［ ア ］・［ イ ］に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 1 ］

① **ア**－富本銭　　**イ**－蒙古襲来
② **ア**－富本銭　　**イ**－元弘の変
③ **ア**－和同開珎　**イ**－蒙古襲来
④ **ア**－和同開珎　**イ**－元弘の変

問２　下線部ⓐの宋銭は，日宋貿易によってもたらされたものである。平安時代末期の平氏政権が宋船を招来するために修築した大輪田泊の場所はどこか。該当する場所を，次の地図中の①～④のうちから一つ選べ。 **2**

問３　下線部ⓑについて述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **3**

① 金を貸して利息をとる公出挙が広く行われた。
② 遠隔地との取引に為替の使用が始まった。
③ 幕府は高利貸業者に土倉役・津料などの営業税を課した。
④ 借金に苦しむ農民は惣村を基盤にして徳政一揆を起こした。

B　全国統一を達成した豊臣秀吉は，ⓒ各地の主要な鉱山を支配下において，天正大判などの貨幣を鋳造した。

ついで江戸幕府はⓓ金・銀・銭の三貨を鋳造して全国に流通させ，統一的な貨幣制度を整備した。このことは，江戸時代，産業や経済のめざましい発展を背景に，全国的な商品流通網が形成される基盤となった。三都や各地の城下町などの都市では，両替商が三貨間の両替や秤量を業務として貨幣の流通をささえた。とくに大坂や江戸の本両替は幕府や藩の公金もあつかい，大きな経済力をもった。農村でも，江戸時代中期以後，農村社会の変容を背景に地主として成長した豪農層が金融にも進出して，経済力を蓄えていった。

江戸時代，貨幣の鋳造・発行権を独占する幕府はⓔしばしば貨幣の改鋳を行った。これによって得られる差益は，幕府の大きな収入になることもあった。

問４　下線部ⓒに関して，豊臣秀吉が支配下においた鉱山のなかには，その遺跡が 2007 年にユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録されたものも含まれる。その鉱山として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **4**

① 佐渡金山　　② 石見（大森）銀山
③ 但馬生野銀山　　④ 足尾銅山

問５　下線部ⓓの江戸時代の貨幣のうち金貨と銀貨について述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて，その正誤の組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **5**

Ⅰ　江戸幕府は，計数貨幣の金貨や，秤量貨幣の銀貨を鋳造した。
Ⅱ　江戸では主として銀貨，京都・大坂の上方では金貨で取引が行われた。

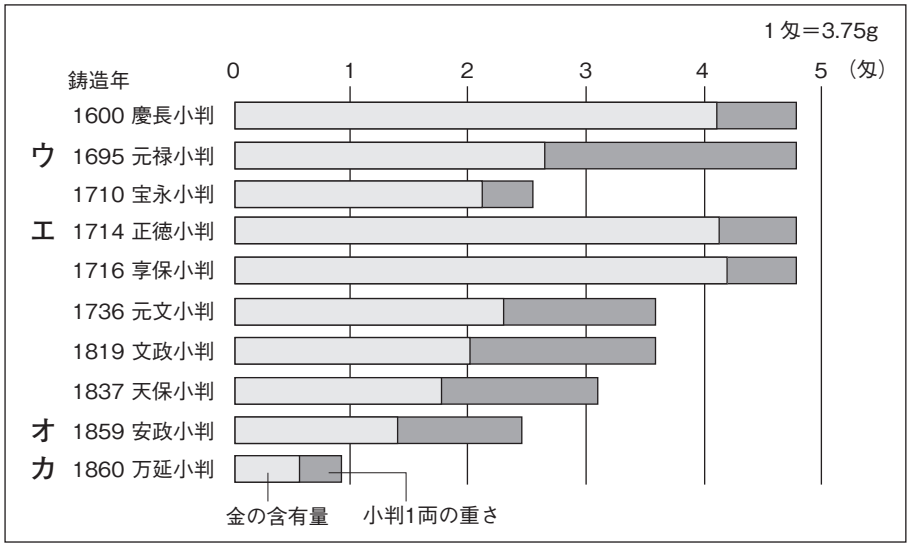
① Ⅰ－正　Ⅱ－正　　② Ⅰ－正　Ⅱ－誤
③ Ⅰ－誤　Ⅱ－正　　④ Ⅰ－誤　Ⅱ－誤

問６　下線部ⓔについて述べた次の文Ⅰ・Ⅱとグラフ中の**ウ**～**カ**の組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 6

Ⅰ　新井白石が主導して貨幣の品質回復が行われた。

Ⅱ　貿易開始による金貨の海外流出に対応するために改鋳が行われた。

金銀成分比の推移



（『日本通貨変遷図鑑』より）

①　Ⅰ－ウ　Ⅱ－オ　　②　Ⅰ－ウ　Ⅱ－カ

③　Ⅰ－エ　Ⅱ－オ　　④　Ⅰ－エ　Ⅱ－カ

C　明治時代初期，政府は新貨条例や国立銀行条例を公布して貨幣制度と金融の近代化をめざした。国立銀行条例制定の中心となった［キ］は官を辞し，みずから第一国立銀行を設立した。彼はその後も大阪紡績会社など多くの企業の設立に参画し，日本の資本主義成立に大きな役割を果たした。

西南戦争後，政府は激しい［ク］によって財政難におちいった。1881 年，松方正義が大蔵卿に就任して紙幣整理を進めるとともに，1882 年には日本銀行を設立し，1885 年から銀兌換の銀行券を発行していった。

松方財政は深刻な不況をまねき，社会は一時動揺したが，銀本位制が確立すると，1880 年代後半には会社設立ブームが起こり，産業革命が本格化していった。さらに 1897 年には貨幣法が公布され，ⓕ日本は欧米諸国にならって金本位制を採用することになった。

問７　空欄［キ］・［ク］に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［7］

① **キ**－渋沢栄一　**ク**－インフレーション
② **キ**－渋沢栄一　**ク**－デフレーション
③ **キ**－岩崎弥太郎　**ク**－インフレーション
④ **キ**－岩崎弥太郎　**ク**－デフレーション

問８　下線部ⓕは，第一次世界大戦中に一時停止され，1930 年に金輸出解禁が断行されたものの，深刻な昭和恐慌をまねくことになった。金輸出解禁を断行した大蔵大臣として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［8］

① 清浦奎吾　② 高橋是清　③ 井上準之助　④ 山本権兵衛

第２問　飛鳥時代～平安時代末期の政治に関する **A** ～ **C** の文章を読み，次の問い（**問１**～**７**）に答えよ。

A　６世紀末から７世紀初めにかけて，蘇我馬子と［ア］が中心となって中央集権をめざす改革が行われ，冠位十二階や憲法十七条が定められた。

645 年，乙巳の変で蘇我本宗家が滅ぶと，中大兄皇子や中臣鎌足を中心とする政権が発足し，翌年には律令国家の建設をめざす「改新の詔」が出された。663 年，日本は白村江の戦いで唐・新羅連合軍に敗れた。このような国家的危機を背景に 667 年，中大兄皇子は都を［イ］に移し，翌年即位して天智天皇となった。

672 年，天智天皇の死後の皇位継承争いから壬申の乱が起こった。これに勝利した大海人皇子は即位して天武天皇となり，律令国家の建設を強力におしすすめた。天武天皇の死後は<u>ⓐ皇后であった持統天皇が建設事業をうけつぎ</u>，さらに 701 年，藤原不比等らによって大宝律令が完成した。これ以後，<u>ⓑ日本では律令制度にもとづく政治が行われることになった</u>。

問１　空欄［ア］・［イ］に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［9］

① **ア**－山背大兄王　**イ**－大津
② **ア**－山背大兄王　**イ**－難波
③ **ア**－厩戸王　　**イ**－大津
④ **ア**－厩戸王　　**イ**－難波

問２　下線部ⓐの時期に行われたこととして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［10］

① 藤原京への遷都
② 庚午年籍の作成
③ 最初の遣唐使の派遣
④ 八色の姓の制定

問３　下線部ⓑに関して，律令政治の仕組みについて述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 11

① 行政の運営は，太政官の公卿の合議によって進められた。

② 弾正台のもとに八省が置かれて，政務を分担した。

③ 官吏には位階が与えられ，位階に対応する官職に任じられた。

④ 各官庁の幹部職員は，長官・次官・判官・主典の四等官で構成された。

B　平安時代初期の嵯峨天皇の時代，藤原冬嗣が天皇の信任を得，藤原氏北家が勢力を伸ばし始めた。その後，ⓒ藤原氏北家は他氏排斥をくり返しながら，外戚政策によって天皇家と密接な関係を築き，摂政・関白の地位について政界の頂点に立つようになった。とくに969年に起こった安和の変で源高明が排斥された後は，摂政または関白がほとんど常に置かれるようになった。摂関家内部での「氏長者」をめぐる争いも10世紀末にはおさまり，以後，藤原道長・頼通の２代，60年以上にわたって摂関家の全盛がつづいた。

摂関政治の時代，貴族にとって外戚としての地位を得るには，天皇の後宮に入る娘たちの役割が重要となった。そのため，娘たちには才能のある女性をつきそわせようとした。［ウ］の時代に，道長の兄の道隆の娘定子に仕える清少納言と，道長の娘彰子に仕える紫式部とが競い合うようにして同じ後宮にいたのも，これを反映したものであった。

問４　空欄［ウ］に入る語句として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［12］

①　醍醐天皇　　②　宇多天皇　　③　一条天皇　　④　村上天皇

問５　下線部ⓒについて述べた次の文Ⅰ～Ⅳについて，古いものから年代順に正しく配列したものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。［13］

Ⅰ　応天門の変で伴善男が排斥された。
Ⅱ　菅原道真が大宰府に左遷された。
Ⅲ　藤原良房が幼少の清和天皇を即位させて事実上の摂政となった。
Ⅳ　藤原基経が光孝天皇を即位させて関白となった。

①　Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ－Ⅳ　　②　Ⅰ－Ⅲ－Ⅳ－Ⅱ　　③　Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ－Ⅳ
④　Ⅲ－Ⅰ－Ⅳ－Ⅱ　　⑤　Ⅲ－Ⅳ－Ⅰ－Ⅱ　　⑥　Ⅳ－Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ

C　1086年，白河天皇は幼少の堀河天皇に譲位すると，ⓓみずから上皇として院庁を開き，院政の道を開いた。院政期の白河・鳥羽・後白河上皇は，いずれも出家して法皇とよばれ，壮麗な寺院の建立や盛大な法会の催行，熊野や高野山への参詣などで浪費の限りをつくした。これらの費用は官職や位を得ようとする貴族の［　エ　］によって賄(まかな)われた。このような売位・売官の横行や知行国の制度の発達によって，この時代，政治は大きく変質していった。

院政のもとで中央政界に進出したのが伊勢平氏である。平忠盛は鳥羽上皇の信任を得て院近臣となり，その子の清盛は12世紀半ばにあいついで起こった保元の乱と平治の乱で武士の実力を示した。清盛は乱後，めざましい昇進をとげて太政大臣となり，平氏政権が成立した。摂関家出身の慈円はその著書『［　オ　］』で，保元の乱によって「ムサ(武者)ノ世ニナリニケル也」，と書き，武士の時代が到来したという歴史認識を示した。

問6　空欄［　エ　］・［　オ　］に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 14 ］

① **エ**－成功　**オ**－愚管抄
② **エ**－成功　**オ**－方丈記
③ **エ**－公事　**オ**－愚管抄
④ **エ**－公事　**オ**－方丈記

問7　下線部ⓓに関して，白河上皇の院政について述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて，その正誤の組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。［ 15 ］

Ⅰ　勘解由使を任命して荘園整理を実施した。
Ⅱ　北面の武士を設置して院の武力とした。

① Ⅰ－正　Ⅱ－正　　② Ⅰ－正　Ⅱ－誤
③ Ⅰ－誤　Ⅱ－正　　④ Ⅰ－誤　Ⅱ－誤

第３問　中世の戦乱に関するA～Cの文章を読み，次の問い（問１～７）に答えよ。

A　鎌倉幕府では源頼朝の死後，有力御家人どうしの抗争がつづくなかで北条氏が台頭し，北条時政，ついでⓐ義時が執権として幕府政治を主導するようになった。

その頃，朝廷では後鳥羽上皇が強力な院政を行い，幕府と対決して朝廷の勢力を挽回しようとしていた。1219年，３代将軍源実朝が暗殺されると朝幕関係は不安定となり，1221年，上皇は北条義時追討の兵をあげた。

このとき上皇は，北条氏の勢力増大に反発する東国武士の一部を味方に引き入れようとしたが，尼将軍とよばれた北条政子のよびかけもあって，東国武士の大多数は幕府のもとに結集し，北条泰時らが率いる幕府軍が京都を攻めて圧倒的な勝利をおさめた。乱後，幕府は後鳥羽上皇ら３上皇を配流して仲恭天皇を廃位にするなど，朝廷に対して厳しい処置をとるとともに，ⓑ畿内や西国に勢力を拡大していった。

問１　下線部ⓐについて，北条義時が政所と侍所の別当を兼任するようになった時期として正しいものを，次の年表中の①～④のうちから一つ選べ。 16

源頼朝が死去する
①
比企能員が滅ぼされる
②
２代将軍源頼家が謀殺される
③
和田義盛が滅ぼされる
④
３代将軍源実朝が暗殺される

問２　下線部ⓑに関して，承久の乱後，幕府の勢力が畿内や西国にも拡大するようになった理由について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 17

① 畿内・西国の国衙の権限が六波羅探題に吸収されていったから。
② 畿内・西国の守護の多くが北条氏一門から任命されるようになったから。
③ 畿内・西国の荘園・公領に多くの新補地頭が設置されたから。
④ 畿内・西国の多くが幕府の有力御家人の知行国になったから。

B　後醍醐天皇による建武の新政に対して強い不満をもっていた武士は，足利尊氏に武家政治の復活を期待するようになった。1335 年，関東で反乱を起こした［ ア ］を平定した尊氏は建武政権に反旗をひるがえし，翌年，京都を制圧して光明天皇を立てた。これに対して後醍醐天皇は吉野に移り，みずからの皇位の正統性を主張した。南北朝の動乱は，その後約 60 年つづくことになった。

南朝方は，当初から軍事的には劣勢であったが，ⓒ北畠親房らが中心になって抗戦をつづけた。北朝方では 1338 年，尊氏が征夷大将軍に任じられ，やがて尊氏の弟直義と尊氏の執事高師直との対立から［ イ ］が起こった。これは直義が敗死して一応収まったものの，その後も尊氏派，旧直義派，そして南朝勢力が離合集散をくり返しながら三つ巴の抗争をつづけ，動乱を長期化させた。

南北朝の動乱が長期化したのは，この時代が武家社会の大きな転換期でもあったからである。ⓓこの武家社会の転換を背景に，守護が勢力を拡大していった。

問３　空欄［ ア ］・［ イ ］に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 18 ］

① **ア**－新田義貞　**イ**－霜月騒動
② **ア**－新田義貞　**イ**－観応の擾乱
③ **ア**－北条時行　**イ**－霜月騒動
④ **ア**－北条時行　**イ**－観応の擾乱

問４　下線部ⓒは，動乱を戦いながら，南朝の正統性を主張する『神皇正統記』を著した。これに影響を与えた，度会家行が唱えた神道理論として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 19 ］

① 伊勢神道　　② 垂加神道　　③ 復古神道　　④ 唯一神道

問５　下線部ⓓに関連して，幕府は動乱中の 1352 年，守護を味方につけるために次のような法令を出した。この法令に関して述べた下の文Ⅰ・Ⅱについて，その正誤の組合せとして正しいものを，あとの①～④のうちから一つ選べ。 20

次に近江･美濃･尾張三ヶ国の本所領半分の事，兵粮料所（兵粮米徴収に指定された所領）として，当年一作，軍勢に預け置くべきの由，守護人等に相触れ訖んぬ。半分に於いては，宜しく本所に分かち渡すべし。若し預人事を左右に寄せ（あれこれ理由をつけて），去渡さざれば，一円に本所に返付すべし。

Ⅰ　これは守護に半済の権限を認めたものである。

Ⅱ　このあと守護は刈田狼藉を取り締まる権限や使節遵行も獲得していった。

①　Ⅰ－正　Ⅱ－正　　②　Ⅰ－正　Ⅱ－誤

③　Ⅰ－誤　Ⅱ－正　　④　Ⅰ－誤　Ⅱ－誤

C　6代将軍足利義教が守護［ ウ ］に殺害された嘉吉の変後，ⓔ管領家の畠山氏と斯波氏で家督争いが起こった。将軍家でも，8代将軍足利義政の後継をめぐって，弟の義視と，子の義尚を推す義政の妻日野富子とが対立するようになった。これに幕府の実権を握ろうとして争っていた［ エ ］と山名持豊が介入したことから対立が激化し，1467年，応仁の乱が始まった。

このとき，ほとんどの守護大名が［ エ ］方の東軍と山名方の西軍とに分かれて戦い，主戦場となった京都は荒廃した。10年後，両軍は和議を結んだが，争乱は地方に広がり，時代は戦国時代へと移っていった。下剋上の風潮が高まるなか，領国では守護代や有力国人が守護大名にとって代わろうとする動きが強まり，領国支配の実権はしだいに彼らの手に移っていった。南山城地方では，国人たちが畠山氏を退去させ，8年間の自治を実現した。

問6　空欄［ ウ ］・［ エ ］に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 21 ］

① **ウ**－赤松満祐　**エ**－細川勝元
② **ウ**－赤松満祐　**エ**－斯波義敏
③ **ウ**－大内義弘　**エ**－細川勝元
④ **ウ**－大内義弘　**エ**－斯波義敏

問7　下線部ⓔに関連して，家督争いが激しくなったのは，相続形態によって，嫡子の立場が庶子にくらべて絶対的優位になったためである。このころに行われていた相続形態について述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 22 ］

① 分割相続が一般的であった。
② 単独相続が一般的になった。
③ 分割相続から単独相続への過渡期であった。
④ 単独相続から分割相続への過渡期であった。

第４問　江戸時代の政治と学問に関するA～Cの文章を読み，次の問い（問１～７）に答えよ。

A　江戸幕府を開いた徳川家康は，京学の祖とされる［ア］の弟子で朱子学者の林羅山を江戸にまねいて側近の一人とした。林羅山は家康の後も秀忠・家光らに仕え，ⓐ寛永の武家諸法度などの法令や外交文書の起草にあたった。またその子孫は林家（りんけ）とよばれ，代々幕府の文教をつかさどるとともに，その家塾は幕府官学の役割を果たした。

1651年，家綱が11歳で4代将軍に就任した直後，兵学者由井正雪らが幕府転覆をねらって慶安の変を起こした。幕府はこれを機に，［イ］を緩和して牢人の増加を防ぐとともに，学問を奨励する文治主義を打ち出した。幼い将軍を補佐したのは，叔父で会津藩主の保科正之であった。彼はまたⓑ江戸時代前期を代表する名君の一人で，山崎闇斎に朱子学を学び，藩政の刷新にあたった。

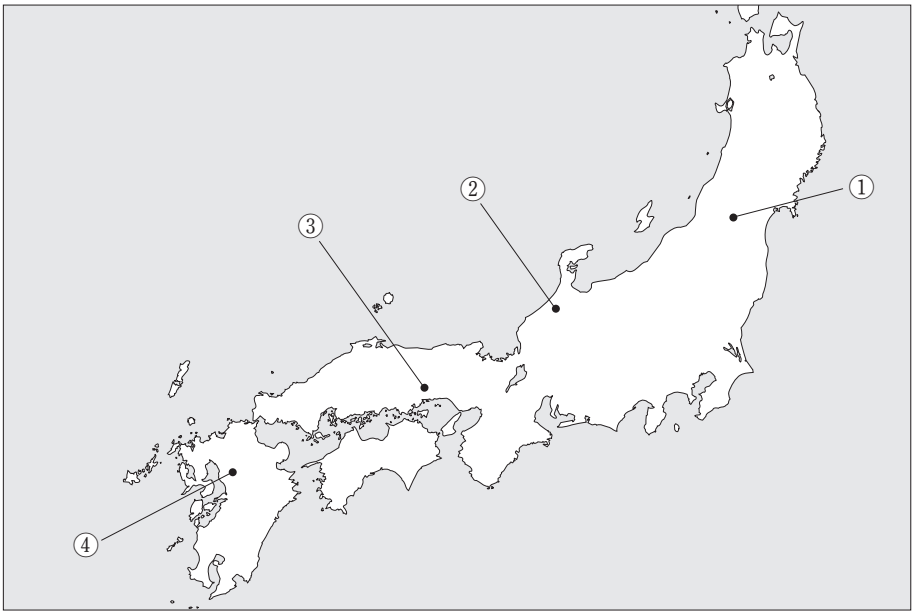
問１　空欄［ア］・［イ］に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［23］

① ア－桂庵玄樹　イ－身分統制令
② ア－桂庵玄樹　イ－末期養子の禁止
③ ア－藤原惺窩　イ－身分統制令
④ ア－藤原惺窩　イ－末期養子の禁止

問２　下線部ⓐについて述べた文として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［24］

① 大名の家臣の殉死が禁止された。
② 天皇の紫衣勅許が規制された。
③ 福島正則が法度違反で改易された。
④ 大名の参勤交代が義務づけられた。

問３　下線部ⓑには，保科正之のほかに前田綱紀・池田光政らがいる。そのうち池田光政は，儒学者の熊沢蕃山をまねいて殖産興業や治水事業に力を入れるとともに，庶民も学ぶことができる郷校（郷学）の閑谷学校を設けた。閑谷学校の場所はどこか。該当する場所を次の地図中の①～④のうちから一つ選べ。 25



B　18 世紀前半，８代将軍徳川吉宗がとりくんだ享保の改革では，財政再建のため<u>ⓒ諸大名に上げ米を命じたり，年貢の増徴に努め</u>，新田開発や殖産興業に力を入れたりした。また吉宗は，殖産興業策の一環として実学を奨励するため漢訳洋書の輸入制限を緩和するとともに，儒学者の青木昆陽と野呂元丈にオランダ語の学習を命じ，これが後の蘭学発展のもととなった。

その後，青木昆陽にオランダ語の初歩を学んだ［ ウ ］は，杉田玄白・中川淳庵らとともに西洋医学の解剖書『ターヘル=アナトミア』を翻訳し，1774 年，『解体新書』として刊行した。このころは［ エ ］の時代で，商品経済が発達するなか，庶民文化や種々の学問も多様に発展した時期であった。この成果は広く世に受け入れられ，蘭学はその後，急速に発展していった。

問４　空欄［ ウ ］・［ エ ］に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 26 ］

① **ウ**－大槻玄沢　**エ**－老中田沼意次
② **ウ**－大槻玄沢　**エ**－大御所徳川家斉
③ **ウ**－前野良沢　**エ**－老中田沼意次
④ **ウ**－前野良沢　**エ**－大御所徳川家斉

問５　下線部ⓒの享保の改革で実施された上げ米と年貢の増徴について述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて，その正誤の組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。［ 27 ］

Ⅰ　上げ米の見返りに大名の参勤交代が緩和された。
Ⅱ　一定期間，年貢率を変えない定免法が採用された。

① Ⅰ－正　Ⅱ－正　　② Ⅰ－正　Ⅱ－誤
③ Ⅰ－誤　Ⅱ－正　　④ Ⅰ－誤　Ⅱ－誤

C　18 世紀末，寛政の改革を行った老中松平定信は，厳しい倹約令を出すとともに，旗本たちには武芸に励むことを命じ，寛政異学の禁を出して学問の統制にものりだした。また定信は民間に対しても厳しい出版統制令を出し，黄表紙や洒落本のような庶民文芸だけでなく，ⓓ幕府の政策を批判する著書なども，弾圧をうけて発禁となった。

閑院宮家から即位した光格天皇は，父の典仁親王に太上天皇の尊号を宣下したいと幕府に同意を求めたが，松平定信はこれに強く反対した。この尊号一件もあって定信は老中辞職に追いこまれた。以後，朝幕関係がしだいに不安定になっていった。このころから高山彦九郎ら尊王家の活動が活発になり始め，やがてⓔ平田篤胤が説く国学が地方の豪農や神職たちの間に広まり，幕末に尊王攘夷運動が高まる基盤がつくられていった。

問６　下線部ⓓのとき，次のような内容の著書が発禁となり，著者が処罰された。これは誰の何という著書の一部か。下の著書名Ⅰ・Ⅱと著者名**オ**～**ク**の組合せとして正しいものを，あとの①～④のうちから一つ選べ。 28

当時（現在）長崎に厳重に石火矢（大砲）の備有て，却て安房，相模の海港に其備なし。此事甚不審。細カに思へば江戸の日本橋より唐，阿蘭陀迄境なしの水路也。然ルを此に備へずして長崎にのミ備ルは何ぞや。

Ⅰ　『戊戌夢物語』　　Ⅱ　『海国兵談』

オ　渡辺崋山　　**カ**　高野長英　　**キ**　工藤平助　　**ク**　林子平

①　**Ⅰ－オ**　　②　**Ⅰ－カ**　　③　**Ⅱ－キ**　　④　**Ⅱ－ク**

問７　下線部ⓔに関連して，平田篤胤以前の国学の動きについて述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて，古いものから年代順に正しく配列したものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 29

Ⅰ　本居宣長は「漢意」を排し，日本古来の精神に返ることを主張した。
Ⅱ　塙保己一は古典の収集や保存に努め，『群書類従』を編纂した。
Ⅲ　賀茂真淵は『万葉集』などを研究して日本の古代思想を追究した。

①　**Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ**　　②　**Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ**　　③　**Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ**
④　**Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ**　　⑤　**Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ**　　⑥　**Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ**

第５問　近現代の外交に関するA～Cの文章を読み，次の問い（問１～７）に答えよ。

A　1876年，ⓐ日朝修好条規を結んで朝鮮を開国させた日本は，清国と対立するようになった。朝鮮で起こった壬午軍乱や甲申事変によって日本の進出が阻まれると，清国や朝鮮に対する日本の世論が悪化し，［ア］は脱亜論を唱えるようになった。

1894年，日清戦争が起こった。翌年，勝利をおさめた日本は，下関条約を結んで清国を朝鮮から排除した。朝鮮はその後，国号を大韓帝国（韓国）と改めた。下関条約によって［イ］が日本に割譲されることになると，ロシアが三国干渉によってその返還を要求した。日本はこれを受け入れたものの，日本国内では反ロシアの感情が高まっていった。

その後，日本は1902年に結んだ日英同盟を後ろ盾として，1904年，日露開戦に踏み切った。翌年，アメリカ大統領の仲介によって講和会議が開かれ，ポーツマス条約が調印された。これによって日本は満州（中国東北部）への進出の足掛かりを得るとともに，ⓑ韓国の植民地化を進めていった。

問１　空欄［ア］・［イ］に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［30］

① ア－徳富蘇峰　イ－山東半島
② ア－徳富蘇峰　イ－遼東半島
③ ア－福沢諭吉　イ－山東半島
④ ア－福沢諭吉　イ－遼東半島

問２　下線部ⓐは，前年に起こった事件を理由に日本が朝鮮にせまって結ばせた不平等条約である。前年に起こった事件とは何か。正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［31］

① 琉球漂流民殺害事件　　② 閔妃殺害事件
③ 江華島事件　　④ ノルマントン号事件

問３　下線部ⓑに関して，日本が韓国を植民地化する過程について述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。［32］

① アメリカは桂・タフト協定によって，日本の韓国指導権を認めた。
② 韓国皇帝によるハーグ密使事件を機に，日本は韓国を保護国とした。
③ 韓国に統監府が置かれ，伊藤博文が初代統監として赴任した。
④ 日本による韓国軍隊解散に抵抗して，義兵運動が本格化した。

B　1918 年，日本最初の本格的政党内閣である立憲政友会の原敬内閣が成立した。

この原内閣と，1921 年の原首相暗殺後に政権を引きついだ高橋是清内閣は協調主義をかかげ，ⓒ第一次世界大戦後のパリ講和会議と，アメリカのよびかけで開かれたワシントン会議に臨んだ。

1924 年の第二次護憲運動によって護憲三派内閣が成立して以後，しばらく政党内閣がつづいた。憲政会の加藤高明首相や，つづく若槻礼次郎首相は外務大臣に幣原喜重郎を起用し，協調外交をすすめた。これに対し立憲政友会は積極外交を主張するようになり，田中義一内閣は外交方針を対中国強硬策に転換した。

そのあと，幣原を外相とする立憲民政党の浜口雄幸内閣は，1930 年，ロンドン海軍軍縮条約に調印した。軍部・右翼などはこれを［ ウ ］として激しく攻撃した。そのため浜口首相は右翼に襲われて翌年死亡した。また満州事変が勃発するにおよんで，幣原外交の時代は終わった。

問４　下線部ⓒについて述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて，その正誤の組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。［ 33 ］

Ⅰ　ヴェルサイユ条約の調印に抗議して中国で三・一独立運動が起こった。

Ⅱ　四カ国条約の調印にともなって日英同盟協約の廃棄が同意された。

①　Ⅰ－正　Ⅱ－正　　②　Ⅰ－正　Ⅱ－誤

③　Ⅰ－誤　Ⅱ－正　　④　Ⅰ－誤　Ⅱ－誤

問５　空欄［ ウ ］に入る語句として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 34 ］

①　統帥権の干犯である

②　国家総動員の障害となる

③　軍部大臣現役武官制に反する

④　国体明徴を否認するもの

C　日中戦争が長期化し，ヨーロッパで第二次世界大戦が勃発するなか，1940 年に成立した第２次近衛文麿内閣は，北部仏印に進駐し，日独伊三国同盟に調印するなどしてアメリカとの対立を深めた。1941 年，近衛内閣は関係打開のための日米交渉を開始したが，４月に［ エ ］を結んだ松岡洋右外相は対米強硬論を主張して交渉に強く反対した。７月，近衛内閣はいったん総辞職し，松岡を除いた第３次内閣を発足させた。しかしその直後に実施された南部仏印進駐によって，さらに態度を硬化させたアメリカは，［ オ ］などの措置をとった。

近衛内閣は 10 月，日米関係打開のめどが立たないまま総辞職した。これに代わった東条英機内閣は，11 月，アメリカのいわゆるハル＝ノートをみて開戦にふみきり，12 月８日，日本海軍の真珠湾攻撃によって太平洋戦争が始まった。緒戦は日本が優勢であったが，しだいに劣勢となり，1945 年８月 14 日，日本はポツダム宣言を受諾して降伏した。降伏は翌日国民に発表され，ⓓ日本は連合国による占領下におかれることになった。

問６　空欄［ エ ］・［ オ ］に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 35 ］

① **エ**－日ソ基本条約　**オ**－対日石油輸出の禁止
② **エ**－日ソ基本条約　**オ**－日米通商航海条約の廃棄
③ **エ**－日ソ中立条約　**オ**－対日石油輸出の禁止
④ **エ**－日ソ中立条約　**オ**－日米通商航海条約の廃棄

問７　下線部ⓓに関して，日本は 1951 年，アメリカなど 48 カ国とサンフランシスコ平和条約に調印し，これが発効することによって翌年４月，独立を回復した。サンフランシスコ平和条約について述べた文として**誤っているもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。［ 36 ］

① 朝鮮戦争の勃発がアメリカに日本の独立回復をいそがせた。
② ソ連はこの平和条約に調印しなかった。
③ この平和条約調印と同日に日米安全保障条約が結ばれた。
④ この平和条約の発効とともに沖縄が日本に返還された。

（日本史の問題は終わり）